

北海道地区自然災害科学資料センター活動報告メモ (平成 28 年度)

(1) 一般活動（地区幹事会・センター運営委員会）

第 1 回幹事会：平成 28 年 8 月 29 日（月）15：30～17：00 参加人数：12 名

1. 幹事の交代について

山下センター長より、2 名の幹事交代について説明があり、以下の通り承認された。

・田中洋行特任教授の後任委員について

田中洋行委員のご退職に伴い、後任として平成 28 年 10 月 1 日に北海道大学大学院工学研究院環境フィールド工学部門にご着任予定の渡部要一（ワタベ ヨウイチ）教授が推薦され、平成 28 年 10 月 1 日より委員に就任することが承認された。

・藤吉康志特任教授の後任委員について

藤吉康志委員のご退職に伴い、後任として北海道大学低温科学研究所水・物質循環部門の渡辺力（ワタベ ツトム）教授が推薦され、平成 28 年 8 月 29 日より委員に就任することが承認された。渡辺教授よりご就任にあたってのご挨拶があった。

2. 自然災害研究協議会報告（平成 27 年度第 3 回、平成 28 年度第 1 回）

岡田部会長より、平成 27 年度第 3 回および平成 28 年度第 1 回京都大学防災研究所自然災害研究協議会に関して、資料に基づき報告があった。

・予算について

平成 27 年度の北海道地区部会総額決算は予算計 630,000 円、支出計 630,000 円であり、平成 28 年度の北海道地区予算案は 5 万円増額の 680,000 円となった。岡田部会長より、予算に余裕があるので、積極的に予算をご活用いただきたいとのアナウンスがあった。

3. 平成 27 年度決算報告

山下センター長より、配布資料に基づき説明があり承認された。

・一般運営財源（研究経費）

収入：2,124,651 円、支出：923,592 円、翌年度への繰越額：1,201,059 円

・寄附金

収入：440,793 円、支出：0 円、翌年度への繰越額：440,793 円

4. 平成 28 年度予算案

山下センター長より、配布資料に基づき説明があり承認された。

・一般運営財源（研究経費）

収入：2,386,059 円、支出：1,008,050 円、翌年度への繰越額：1,378,009 円

・寄附金

収入：440,793 円、支出：0 円、翌年度への繰越額：440,793 円

センター報告 vol. 30 の印刷費については、京都大学より支出予定であることが確認された。

5. 平成28年度地区フォーラムのテーマについて

山下センター長と岡田部会長より、各委員に対して、京都大学より旅費・会場費・人件費等が支出可能であるため、積極的に企画をしていただきたい旨アナウンスがあった。企画者は適宜山下センター長あるいは岡田部会長へ連絡をすることが依頼された。

6. センター(地区部会)業務報告

山下センター長より、配布資料に基づき報告があった。

- ・北海道地区部会メンバー数について：部会員 100 名、協力員 45 名、計 145 名
- ・資料について：寄贈 34 冊、作成 1 冊（センター報告 vol. 29）、貸出（災害資料）1 件
- ・センター報告 vol. 29 について：発送者数 345 名、発送部数 387 部

7. 地区部会員・協力員について

山下センター長より、災害関係で未登録の先生がいる場合には部会員としてご推薦いただきたいとの依頼があり、後日、各委員に対して案内文および名簿をお送りすることとなった。

8. センター報告 30 号寄稿者候補について

山下センター長より、高松泰特任教授（北海道大学大学院公共政策学連携研究部）と丸谷知己特任教授（同大学院農学院）に昨年度の特別講演の内容をまとめて執筆いただけるよう依頼する予定であることが報告され、各委員の方も候補者についてご検討いただきたいとの依頼があった。京都大学より印刷費を支出するため、原稿の締切りが早まり、12 月中旬か遅くても 1 月中旬を目処に執筆いただきたいとのアナウンスがあった。

9. 総会特別講演者候補について

山下センター長より、北大工学研究院以外でご退職の近い講演者候補がいる場合は是非ご連絡いただきたいとの依頼があった。これに対し、谷岡委員が茂木透特任教授を候補者として挙げられ、谷岡委員から茂木先生にご連絡いただけることとなった。また、岡田部会長が有力候補者となった。

※後日、茂木先生のご快諾をいただき、ご講演いただくことが決定した。

10. その他

- ・定年制について

山下センター長より、協力員の方から定年制を設けたほうがよいのではないかとのご提案があったことが報告された。個人の方のご意見を尊重し、申し出がない限り協力員として登録させていただいたほうがよく、定年制は設けなくてよいと結論された。後日、この結論を協力員の方にご連絡をすることとなった。

- ・第35回日本自然災害学会 学術講演会・オープンフォーラムについて
岡田部会長より、第35回日本自然災害学会 学術講演会・オープンフォーラムについてご案内があった。
- ・その他
山下センター長より、イベント等を企画して盛り上げてゆくことが大切であり、是非積極的に企画をしていただきたいとのアナウンスがあった。

第2回幹事会：平成28年12月20日（火）15：00～17：00 参加人数：12名

1. 自然災害研究協議会報告

岡田部会長より、9月23日（金）に開催された、平成28年度第2回京都大学防災研究所自然災害研究協議会について報告された。（資料3）

当日は中嶋先生が代理でご出席され、北海道地区部会の活動を報告された。

- ・京都大学より、台風10号による洪水水害調査について、科研突発災害申請有無の打診があり、北大・清水康行先生を中心に検討されたが、今回突発災害としては申請しなかった。
- ・委員の交代がある場合、第3回自然災害研究協議会において報告をする。

2. 平成28年度予算中間報告

山下センター長より資料に基づき説明があり、承認された。（資料4）

- ・平成28年度配当額：1,185,000円
- ・平成27年度繰越額：1,201,509円
- ・平成29年度への繰越予定額：1,283,247円

3. センター報告30号の募集について

ご寄稿予定

- ・高松泰先生
- ・丸谷知己先生
- ・清水康行先生

4. 平成28年度地区フォーラムについて

山下センター長より、今年度の地区フォーラムは北見市で開催することが決定したと報告された。北見工業大学の早川先生より、2016年8月の台風11号の影響による常呂川の氾濫をテーマに、北見市内で開催すると説明があった。

5. 総会特別講演会講演者候補について

講演者は、岡田先生（工学研究院）、茂木先生（工学研究院）に決定。

他に該当の先生がいらっしゃる場合は、事務局までご連絡いただきたい旨アナウンスがあった。（講演者は、時間の関係上最大3名まで。）

総会の日程は、岡田先生と茂木先生のご予定を優先し決定する。

6. センター業務報告

配布資料（資料7）に基づき山下センター長より報告された。

- ・北海道地区部会のメンバー追加について、災害関係で未登録の先生に部会員として登録していただけるよう、周囲の未登録の先生へのお声掛けをしていただきたいとのアナウンスがあった。
- ・岡田先生より、資料の貸出しが少ないが、どのような資料があるのかが知られていないからではないかとのこと指摘があった。

HPへ蔵書、資料、航空写真の情報は以前から公開されているが、いつから更新されていないのかが不明であった。HPを新設したのを機に（現在は未公開）、データベースの整理が必要ではないかと提案された。

7. 次年度の部会長とセンター長の交代について

平成29年度は、部会長が岡田先生から山下先生へ、センター長が山下先生から飯場先生へ交代することが提案され、承認された。

8. その他

特になし。

（2）地区フォーラム

「防災フォーラム 2016 北見 激甚化する災害にどう立ち向かうか-災害の教訓-」

日時：3月4日（土）14時～17時

場所：北見工業大学総合研究棟多目的講義室

～プログラム～

・基調講演

「土石流・泥流を発生させる現象の実態と解析」

京都大学防災研究所 准教授 竹林 洋史 様

・報告

「2016 年常呂川洪水の防災対応-タイムライン-」

1. 河川管理者はどう対応したか

北海道開発局北見河川事務所 所長 田村 順一 様

2. 避難の実態と情報伝達

北見市総務部 防災危機管理担当部長 阿部 孝夫 様

(3) 出版活動

北海道地区自然災害科学資料センター報告 vol.30 号の刊行 (2017 年 3 月)

(4) 地区総会

開催日時：平成29年2月28日 (火) 15:00～15:30

開催場所：北海道大学大学院工学研究院 A101 会議室

◇特別講演会◇

- ・岡田 成幸 先生 (北海道大学大学院工学研究院)

「災害リスクの構造と工学的制御の方法」

予定時間 15:30～16:30

- ・茂木 透 先生 (北海道大学大学院工学研究院)

「北海道内の内陸大地震発生地域の地下構造」

予定時間 16:30～17:30